

広汎子宮全摘手術を受けられる方へ

KCH-251-06-0148-004

患者氏名：

経過 (日付)	入院日	手術当日		手術後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目以降	【退院予定日】	退院後 初回受診時
		手術前	手術後										
		月 日	月 日										
到達目標	術前に37.5度以上の発熱がない。 手術について理解できる。 入院生活について理解できる。	術前に37.5度以上の発熱がない。	血圧、脈拍、体温などが安定している。 麻酔から覚醒することができる。	血圧、脈拍、体温などが安定している。 肺塞栓症の症状(動悸、胸痛など)がない。		鎮痛剤を使用し痛みが我慢できる範囲である。			排尿コントロールについて理解できる。			【退院の目処】 日常生活の注意点について理解できる。	
治療・処置	主治医の診察があります。 下腹部・陰部の毛剃り、臍の処置をします。 手首にネームバンドを付けます。 弾性ストッキングの採寸を行います。 夕食後に下剤を内服します(下痢の場合は内服しません)。	手術の前に点滴を行います(行わない場合もあります)。排便がない場合は浣腸を行います。 弾性ストッキングを履きます。 手術に行く時はコンタクトレンズ、眼鏡、義歯、下着は外して行きます。	手術室から点滴をしたままです。 お腹に管が入ります(入らないこともあります)。 痛み止めを使用できますので痛みがある場合には看護師に声をかけてください。	昼まで点滴があります。 晩に血栓予防の皮下注射があります。	朝、晩に血栓予防の皮下注射があります。			尿管が抜けたら、 自尿残尿測定が始まります。	抜鉤します。		退院診察があります。		
検査・受診	術前歯科受診があります。 その他必要と判断された場合には検査を行うこともあります。			朝に採血を行います。 		朝に採血を行います。 							
安静	特に制限はありません。 病棟から離れる場合には看護師に声をかけてください。		ベッド上安静です。 寝返りなどは行えます。	朝9時まではベッド上で過ごしてください。 それ以降に看護師と一緒に立つ練習をしてからトイレまで歩きます。	トイレ・洗面所まで歩きましょう。	病棟内を歩きましょう。	特に制限はありません。 どんどん動いて体を慣らしていきましょう。 						
食事	夕食まで普通食です。	絶食です。 水分は指示があるまで飲むことができます。 	絶食です。 水分の開始時は、看護師から伝えます。	昼から3分粥食です。 	全粥食です。	普通食です。							
排泄	病棟または部屋のトイレをご利用ください。	術前にトイレを済ませてください。	尿管が入っています。			3時間おきに尿管を閉鎖して、尿意があるかを確認します。		尿管が抜けます。 その後は排尿訓練が始まります。					
清潔	病棟または部屋のシャワーをご利用ください。			看護師が体拭きを行います。 		シャワーに入れます。						次回の診察までは湯舟にはつかれません。シャワーか、かけ湯だけになります。	
説明	主治医より手術の説明があります。 必要時、麻酔担当医が訪室します。 看護師が入院について説明します。	手術時間は()時からの予定です。場合によっては予定より前後することもありますので、ご家族の方は手術の予定時刻の2時間前には病院に来てください。 (朝8時30分の手術の方は8時までに来てください) 	手術後、ご家族に主治医から説明があります。 			自尿・残尿測定について説明します。 リンパ浮腫について説明します。		傷口に貼るテープの説明を看護師がします。		医師から退院後の生活について説明があります。	看護師から退院後の生活について説明があります。		

必要物品:手術当日使用…手術用下着セット、靴下、羽織物、吸い飲み(曲がるストロー)、ティッシュ1箱

手術翌日以降に使用…ナプキン1袋、スプーン

※この表は入院～退院までのプランを一覧にしたものです。入院時に必ず持参してください。
 ※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。

注意: 予防接種を4週間以内に受けられていると、手術が延期されるケースがあります。近日で接種の予定がある方は、必ず医師に確認をお願いします。



☆退院後に退院後初回外来受診日までに異常を感じましたら受診日を持たずに受診してください。